

1 教科について

国語

昨年度の課題

話の内容を適確に聞き取る力が弱い。

文章の内容を把握する力が弱い。

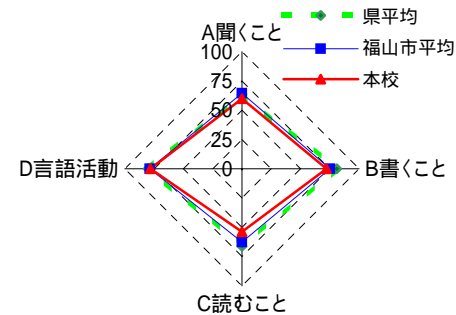
昨年度の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

聞き取り問題の機会を増やし、話の中心となる話題や要点をとらえるために、話のテーマや展開に着目させながらキーワードをメモしていく指導を行った。

文章においては、引き続き要点となる文、語句に着目させて読む指導を行い、小論文においても引き続き、登場人物の心情をとらえるための質問、活動を工夫した。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	74.4%
福山市平均	71.6%
学校平均	67.6%



重点課題（：「基礎・基本」定着状況調査）

- ・・・伝えたい事柄、自分の考えをまとめる力の育成。
- ・・・文章の内容を読みとり把握する力の育成。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

自分の考え、その根拠について書く機会を増やす。また、互いの書いた文章を交流することで、互いの考えを理解しさらに自分の考えをまとめる力をつける。文章の要点となる文・語句に着目させて読む指導を行い、登場人物の心情をとらえるための質問を工夫する。また、登場人物の心情をとらえることで文章の内容をしっかりと理解させ、主題をとらえることができる力をつける。

数 学

昨年度の課題

基本計算力の不足している生徒が多く、計算力を定着させる必要がある。

「数量関係」については、県平均を大きく下回っており、関数、方程式等の分野における理解力を定着させる必要がある。

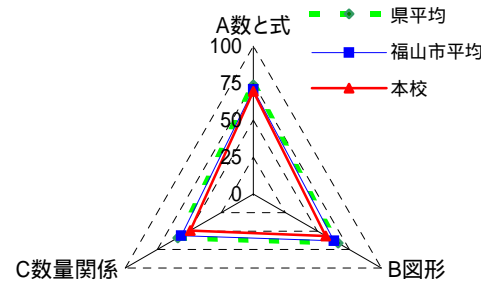
昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

授業始めの小テストを行い、多くの計算問題を解くことで、基本計算力の定着を図った。

身の回りの現象を授業に取り入れ、生徒の体験活動を合わせた授業展開を行い、「数量関係」の定着を図った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	69.0%
福山市平均	65.9%
学校平均	62.1%



重点課題（：「基礎・基本」定着状況調査）

- ・・・数と式においては、規則的に変化する数について、文字を用いて立式することができていない。
- ・・・図形の通過率が低い。その中でも、おうぎ形の問いに答える際、円に帰着して考えることができていない。
- ・・・数量関係においては、グラフから、必要な情報を読み取ることができていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

規則的に変化する数についての立式は毎定期テストに出題している。今後も規則的に変化する数の特徴を捉え、立式できるよう毎定期テストに出題し、解説を丁寧に行う。おうぎ形の問の通過率が低かったことが最重要課題だと思われる。公式をただ覚えるだけでなく、なぜそうなるのか、何を基に考えていくのか、答えを導き出す過程を考えさせ、理解させる。

グラフ、式、表、文章のつながりが理解できていない。今年度の1次関数の単元でもう一度復習を行い、4つのつながりについて定着を図る。

昨年度の課題

「書くこと」について、正しい単語のつづりや文の語順を定着させる。〔

「話すこと」について、基本文や語彙をより多く定着させる。

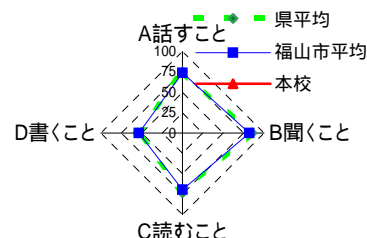
昨年度の課題から取組みの具体

「書くこと」については、単語や基本文を何度も繰り返し書かせる指導を行うとともに、自分の事や身近な話題についても、「話すこと」だけでなく、書くことによってより多くの語句やフレーズを習得できるようにする。そのためには、演習問題だけにとどまらず、英作文をより多く課題として設定し、「書くこと」についてナレさせ、定着を図っていく。また、基本的な文章だけでなく、教科書にでてくる慣用句などを使った短文などを書かせ、自分の考えや状況を相手に分かりやすいように表現できるようにさせる。

「話すこと」については、授業始めにウォーミングアップとして、ペアワークでいくつかのパターンをくり返し練習させる。その際、生徒のマンネリ化を防ぐために、タイムトライアルや自己（他者）評価を入れる。また、基本的なパターンだけでなく、教科書に出てくる慣用句なども用いて、「書くこと」で扱った英文を活用し、場面にあった会話ができるようにする。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	73.4	%
福山市平均	70.7	%
学校平均	67.6	%



重点課題

・・・「読むこと」について、会話の流れを理解したり、物語・説明文の概要をつかみ、英語らしく読むことを指導する。

・・・「書くこと」について、基本的な文の決まりを理解し英文を作ること、自分の考えや身の周りのことを英語で説明することができる豊富な語彙を定着させる。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

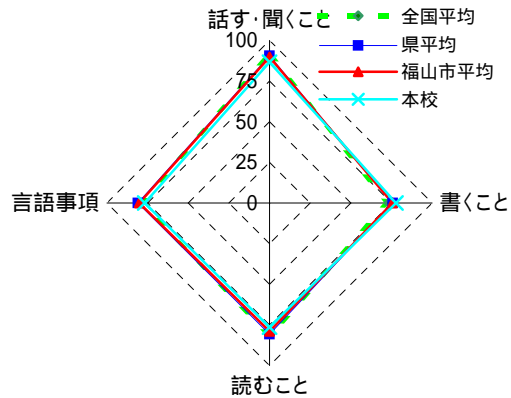
「読むこと」については、教科書の本文の導入時に、繰り返し英文を聞いたり、読んだりする活動を通して、場面をしっかりとつかませ、未習の単語や表現についても、前後の内容や規習の表現からの推測、場面の中での想像により、会話や説明文の概要をつかませることを重点において指導していく。英文を読むことを指導する際にも、場面をつかみ、人物の心情を考えながら、自然に、場面に即して読むことを重点的に指導していく。11月、2月には、本文の暗唱や個人読みのテストを実施しながら、内容をつかみながら英語らしく読むことを指導していく。

「書くこと」においては、各 Unit 終了時に、学習した表現・文法事項を整理し、特に正しい語順で英語を作ることを中心に取り組む。また、新出単語の発音練習の繰り返しや、自主ノートに書くことの繰り返しにより定着を図りたい。また、自己表現活動などを各 Unit で取り組み、より正確な英文で自分の考えや気持ちや、身の周りのことについて英語で説明するなどの活動を必ず取り入れる。

国 語

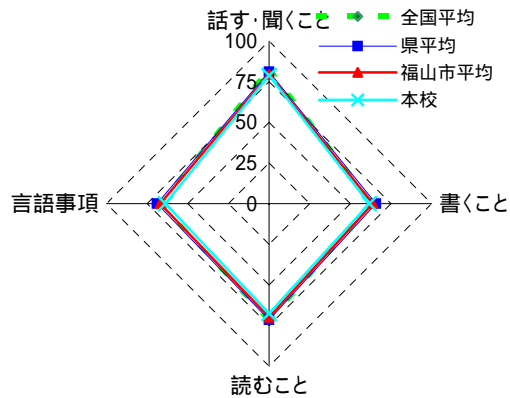
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	81.6 %	県平均	82.4 %
福山市平均	81.6 %	学校平均	78.9 %



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	72.0 %	県平均	72.0 %
福山市平均	71.0 %	学校平均	69.0 %



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

学力・学習状況調査の調査目的

- ・PISA型読解力の国語科における課題に関する研修

今後の指導工夫改善（他教科との関連）

- ・国語科における、本校の課題である「話す・聞く」の領域に関する具体的な指導方法
- ・他教科でどのような指導が具体的にできるのかを交流
- ・校内授業研究の視点として行うことの確認

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

- ・・・「話す・聞く」の領域で伝える必要のある内容を簡潔なメモにまとめる力、目的に沿った質問をする力が弱い。
- ・・・「言語事項」の領域では文脈の中で適切な漢字・語句を使う力が弱い。
- ・・・「読む」の領域では、文章の内容を把握する力が弱い。

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

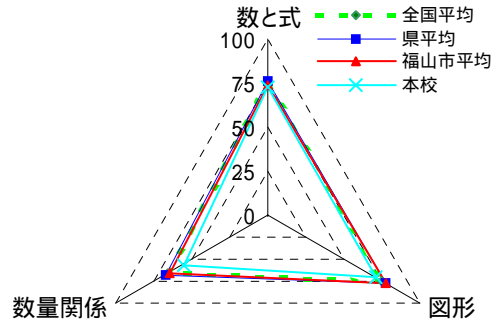
聞き取りを重点的に行い、文章の視点を的確に捉える指導を行ってきたが、十分とはいえない。今後は、聞き取った内容で必要のある点を簡潔なメモにまとめる指導を行い「聞く力」をまずつける。また、聞き取り問題の充実も図る。生徒の発表する機会を増やすことで「聞く」「話す」力の両面の力をつける。

1, 2年では、200字帳に継続的に取り組ませてきた。今後も同様な取り組みを行うが、漢字の読み書きを充実させるため、200字帳の宿題をさせるだけでなく、確認テストの頻度も上げを実施する。また、漢字の意味などを調べさせることで文脈にあった漢字・語句を使える力をつける。

指示語や段落構成に注目しながら読む指導を行ってきた。さらに文章の要点となる文・語句に着目させて読む指導を行い、登場人物の心情をとらえるための質問を工夫する。また、登場人物の心情をとらえることで文章の内容をしっかりと理解させ、主題をとらえることができる力をつける。

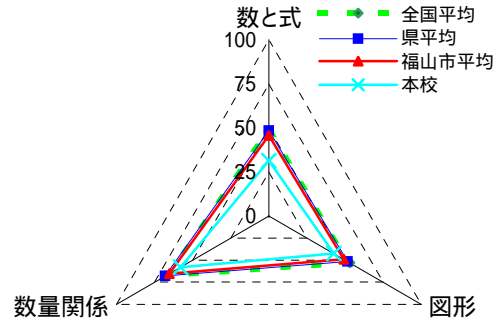
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	71.9 %	県平均	73.3 %
福山市平均	71.9 %	学校平均	66.7 %



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	60.6 %	県平均	60.6 %
福山市平均	57.6 %	学校平均	48.2 %



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

学力・学習状況調査の調査目的

- ・PISA型読解力の数学科における分析における課題に関する研修

今後の指導工夫改善（他教科との関連）

- ・数学科における、本校の課題である「読み取る力」「表現する力」に関する具体的な指導方法
- ・「論理的な思考」を視点として他教科との具体的な指導方法の交流
- ・校内授業研究の視点として行うことの確認

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

- ・・・関数の領域における一次関数の関係を文章より読みとる力、グラフから数量関係を読み取る力が欠けている。
- ・・・確率の領域で、確率の事象を文章中から読み取る力が欠けている。
- ・・・条件にあった計算式を文章から読み取り、表現する力が欠けている。

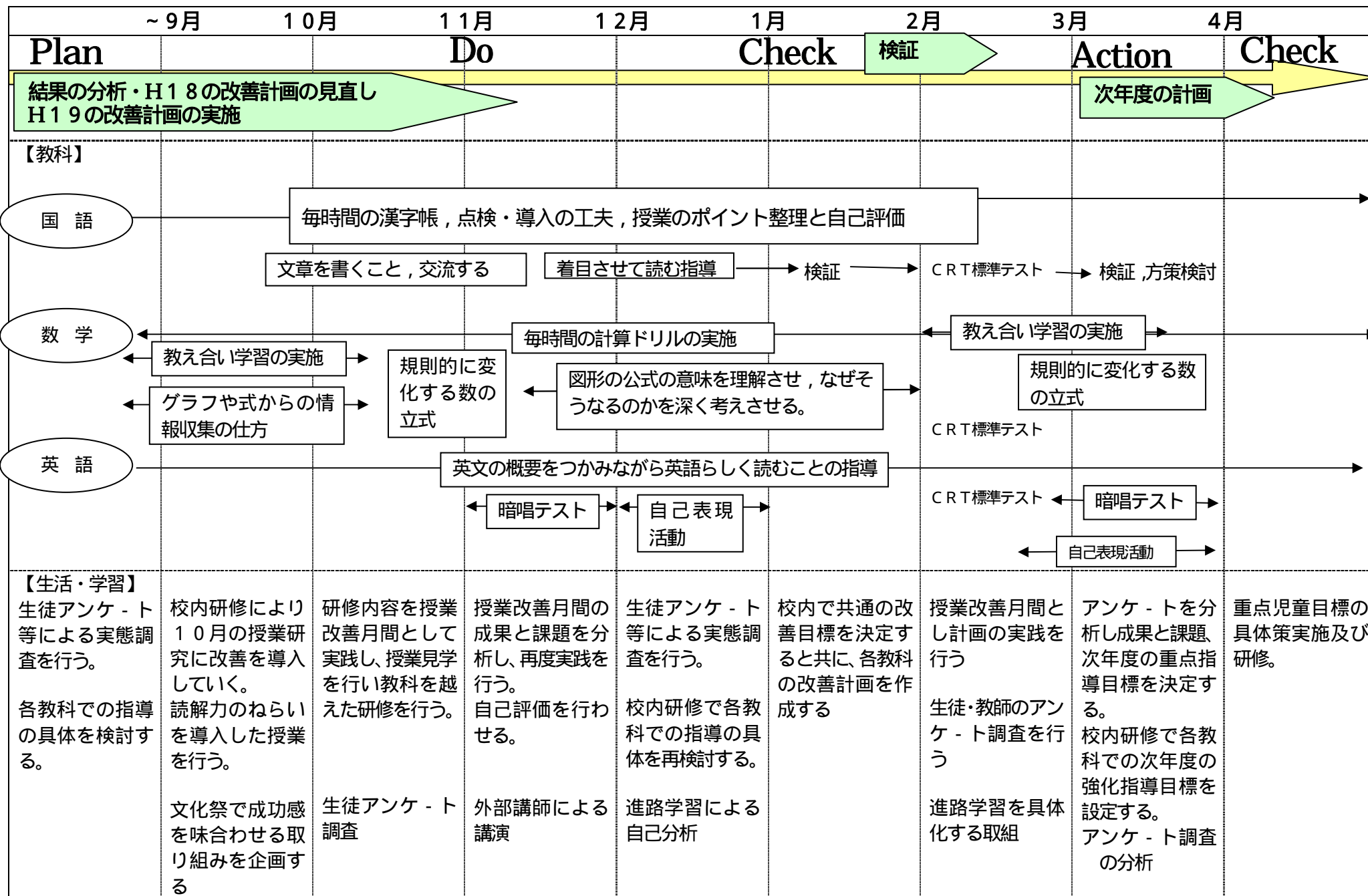
重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

比例，反比例，一次関数とそれぞれの分野での指導をしてきたが，3つの関数の違いを指導することと，問題に応じた関数の使い分けができる力をつけさせたい。また，グラフの作成に多く時間をあてたが，グラフから数値をよみとる練習時間を増やし，2乗に比例する関数で，一次関数との交点との関係を考える場面での力を身につけさせたい。

確率を求める計算を多く指導してきたが，日常で確率の事象として考えられる現象を取り入れ，確率の性質を論理的に理解する力を身につけさせたい。

文章中の数量関係を式に表す指導を行ってきたが，式から文章中の数量関係を考える指導が十分ではなかった。文章，数量の相互関係を理解する力を身につけさせたい。

指導改善のための実施スケジュール



2 意識調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙）

(1) 生活・学習（「基礎・基本」：学校質問紙 P 1～2，生徒質問紙 P 1～3）

（「全国」：学校質問紙 P 12～15，P 20，P 22～23，生徒質問紙 P 1～16）

改善したい点（「基礎・基本」，「全国」）	今後の具体的な取組みの内容
<p>・・・ 読書量及び読書時間を増やす。 相手や目的に応じた話し方ができる。また、根拠をもって説明できる能力を身に付ける。 自己実現力の育成 ・・・</p>	<p>国語科，委員会，家庭と連携し、読書量の目標を設定し自己評価できる取組を行う。 授業におけるメモを取らず指導、根拠をもった発言を求める指導を行う。 また、日常会話においても結論その理由の会話を促す。聞き取り、書き取りのテストを導入するなど工夫改善を行う。 外部講師による講演及び進路学習により自己分析を行う。</p>

(2) 教科（「基礎・基本」：学校質問紙 P 3～10，生徒質問紙 P 4～6）

（「全国」：学校質問紙 P 16～19，生徒質問紙 P 18～29）

教科	生徒の回答と学校の指導についての課題（「基礎・基本」，「全国」）	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	<p>設問 13，14 の回答から過半数の生徒が，文章から筆者の伝えたいことや段落ごとに何が書いているのかを読み取る力が弱いことがわかる。このことから文章のキーワードとなる文や語句に着目させ，内容を把握させていく必要がある。</p>	<p>文章の中でポイントとなる箇所(情景描写・登場人物の言動)を書き抜くなど，人柄や心情が読み取れるよう工夫する。また，作者の意図を考えさせる質問を増やし，文章を読み深められるよう工夫する。</p>
数学	<p>設問 26 の回答から，問題に対して解答はするが，その後の考察，振り返りができていないことが分かる。 また，設問 27 の回答から，文章やグラフから必要な情報を取り出せていないことが分かる。</p>	<p>正誤だけを求めるのではなく，なぜそうなるのか，他の考え方はあるのか，生徒間での教え合いや発問を工夫していく。 文章やグラフの中で重要な部分に印をさせたり，表，式の意味を理解させたりする指導を行う。</p>
英語	<p>設問 29・30 の回答から，英語の学習への意欲は比較的あるが，設問 40・41・42 などの回答から，自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝えることに対する意欲が低いことが伺える。場面や人物の心情を想像しながら英語らしく読むこと，自分の考えや気持ちを相手に英語で伝えようとすることへの意欲を育てることが必要である。</p>	<p>毎時間，英語を繰り返し発音したり，読む活動や，ペアワーク・グループワークを通して，自分のことを相手に伝えることを繰り返し取り組んでいく。教科書に出てくる会話のつながりの言葉，より自然な会話につながるような表現にも関心を持たせ，実際に活動の中で使ってみることで，英語での会話を楽しむ意欲を育てる工夫をする。また，本文の暗唱や個人読みのテストを定期的実施，場面や心情をつかみながら読むことを指導していく。</p>